

愛の家 通信

今月のベストショット！



秋のキラキラ「ベストショット」！「今日はいいお天気だね！」ということで、近くの公園までお散歩へGO！太陽の光を浴びてキラキラ輝く紅葉が、とっても鮮やか！まさに絶好のシャッターチャンスでした。職員とご入居者様と一緒に、思い出のツーショットをパチリ！オレンジ色の紅葉をバックに、こんなに素敵なお笑顔をいただきました！秋の澄んだ空気と、自然の美しさに、心も体もリフレッシュ！楽しいお出かけで、素敵なお笑顔をたくさんチャージできた一日でした！



秋の味覚

暮らしの達人！テキパキこなす、今日の「食卓準備隊」いつものように、ご入居者様が家事のお手伝いをしてくださっている一コマです！本日のミッションは、お食事の準備。ご飯やおかずの小鉢を、皆様テキパキとトレーに並べてください。慣れた手つきで次々と盛り付けをこなす姿は、まさに暮らしの達人！いつも、ありがとうございます。

新潟ラーメン特集

こんにちは！長岡悠久のアイです。今月紹介するのは“黒りりん”です。このお店は長岡市摺田屋町にあります。背油ラーメンが美味しいお店で濃い味のブラックラーメンがおすすめです！にんにくや、しょうがのどちらもあるので、お好みの濃い味が楽しめますよ！大きい背油が並々浮いていて、中太の麺が良く絡み、ガツンと来る背油ブラックです。まぜそばや、期間限定のメニューもあり、今の期間限定は塩マー油まぜそばで、今回私も食べましたが、スープがない分味は濃く感じないかもしれません、それを上回るガツンとマー油が絶品でしたよ！夜勤明けや濃い味が食べたいときにぜひ立ち寄ってみてください！



『薄・芒・尾花』なんて読む？

全部ススキと読みます。オギ・ヨシ・カヤもススキの仲間です。お月見でススキを飾るのは、ススキの茎の空洞に神様が宿ると考え、稻穂に見立てて飾る、稻作文化と八百万信仰の融合と見えるものだと思います。縁日でフクロウのつるし飾りを買った事を思い出します。

斑入り ススキ オギ パンパスグラス



～外国人からみた「ここがすごいよ！日本人」～

11月3日は文化の日！そこで外国人スタッフ数名に日本のすごい所を聞いてみました。約1年前に来日したネパール国籍のスタッフから
「ルールや時間をしっかり守っている」「町がきれい、ゴミが落ちていない」「仕事に真面目に取り組んでいる」「落としたものが戻ってくる」などなど日本人特有の集団行動や協調性を重視する姿が外国の方からしたら素晴らしいと感じるようです。まだまだたくさん【日本】のすばらしい事が世界に伝わるといいですね(^^)



朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、日中との気温差が大きく、体調を崩しやすい季節となりましたが、皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。最近は、熊の出没やインフルエンザの流行など心配なニュースも多く耳にしますが、新潟県内も紅葉が進み、各地で色づいた紅葉やいちょう並木を楽しむ声が聞かれようになりました。中でも弥彦神社の紅葉は特に有名で、鮮やかな景色が多くの方を魅了しています。11月は文化の日をはじめ、七五三・西の市など日本の伝統行事も多く、景色だけでなく秋の味覚も楽しめる季節です。ぜひ、ご入居者様と一緒に季節を楽しみたいと思います。 ホーム長 八幡

【O-157の原因となる食品は？】

調理する際に気をつけるべきことも解説

O-157の原因となる食品について知りたい方もいらっしゃるのではないか。本記事では、O-157の原因となる食品について以下の点を中心に詳しく解説します。

I : 原因となる具体的な食品

・肉魚・生野菜・漬物・井戸水



肉魚は、O-157のもっとも代表的な感染源のひとつで、生肉や十分に加熱できていない肉の加工品などに注意する必要があります。

①肉を調理する際は中心部までしっかりと火を通して、焼くときと食べるときで箸を使い分けたりするなどの心がけが大切です。また、バーベキューなど屋外で肉を調理する場合は、風の影響で火力の調整が難しいこともあります、生焼けで食べないようにしましょう。

②野菜を育てる畑や農場には、さまざまな微生物が存在しており、なんらかの細菌がついていると考えられます。過去には、きゅうりの和え物が原因でO-157が発生し、死亡者がいる事故もありました。生野菜を食べる際は、十分に洗い、目に見えない汚れや細菌を流しましょう。たとえば、トマトのヘタやきゅうりのトゲの周りは汚れが溜まりやすく、レタスやキャベツなどは葉と葉の間にも細菌がいる可能性があります。

また、生野菜を調理する際は、清潔な器具を使うことが大切です。

II : 症状

O-157の症状は、激しい腹痛はじめり、数時間後に水様性下痢を起こす場合が多く、血便が見られることもあります。また、O-157に感染すると溶血性尿毒症症候群や脳症などの重症な合併症を起こす恐れがあるため、免疫力の低い子どもや高齢者などはとくに注意が必要です。なお、O-157の潜伏期間は一般的に3~8日とされていますが、最短で1日、最長で10日程のケースもあります。

詳しくはQRコードから記事をご覧ください

健達ねっと
家族の介護と健康を支える学研の情報サイト



手のぬくもり vol.32



広い世代へ介護の魅力を発信
ほのぼの日記



ある日、ご主人と一緒に外出された入居者様が笑顔でホームに戻ってこられました。寒空の下でもしっかりと手をつなぎ、仲良く歩くお二人の姿に、職員の私たちも自然と頬がゆるみます。

「お帰りなさい。お外、寒くなかったです？」と声をかけると、「大丈夫よ。寒いのはふところだけ！」と冗談を交えて返してくださいました。言葉の中に、長年連れ添ったご夫婦のあたたかい絆と、ユーモアを忘れない明るさが感じられました。

手をつなぐ、声をかける、笑い合う、そんな一瞬一瞬が、入居者様にとっても職員にとっても、ほっこり心温まる時間です。

介護の現場は決して楽なことばかりではありませんが、こうした笑顔の瞬間こそが、私たちの大変な原動力となっています。

寒い季節も、あたたかい言葉とぬくもりで心豊かに過ごしたいものです。

